

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	病児・病後児保育事業		
部 局 名	健康福祉局	課(室)名	子育て支援課
		電話番号	087-839-2354

【事業全体概要】まちづくりの目標：健やかにいきいきと暮らせるまち

総合計画	政策	子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主体	市	
	施策	子育てと仕事の両立支援		期間	平成 20年度～平成 27年度	
	基本事業	保育サービスの充実		総事業費	609,914	
重点取組項目				特定財源	国	195,689
関連根拠法令等					県	68,239
事業区分	自治事務	種別	事中・事後	市債		
事業種類	補助			他	2,746	
				一般	343,240	

事業の概要  
 児童が病気回復期(病後児)、または、病気の回復期には至らないが、当面症状の急変が認められない場合で、まだ集団保育ができず、保護者も仕事等の理由により、家庭で育児ができない場合に、医院等に付設された専用スペースで一時的に預かることにより、保護者の子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備する。

【事業の目的と指標】

対象	小学校3年生までの児童とその親	対象指標名	
		小学校3年生までの児童数	
手段	病期中または病気の回復期の子どもを一時的に預かる施設を地域に開設する。	活動指標名	
		施設開設延べ日数	
意図	子育てと仕事の両立、仕事と生活の調和(ワークライフバランス)の推進を図り、安心して子育てができる環境を整備することを目的とする。	成果指標名	
		病児・病後児保育事業利用者数	
結果	保育サービスの充実を図ることにより、保護者の子育てと仕事の両立支援を推進し、「子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり」に貢献する。	効率指標名	
		トータルコスト(百万円)当たりの施設開設延べ日数	

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	人	39,876	39,727	39,327	39,246	
活動指標	日	1,119	1,112	1,151	1,426	
成果指標	人	5,705	5,909	7,162	6,184	
効率指標	日/百	15.21	13.76	11.3	18.62	
トータルコスト	[千円]	79,374	81,941	101,899		
(事業費)	[千円]	73,582	76,036	95,757		
(職員人件費)	[千円]	5,792	5,905	6,142		

【環境変化等】

開始時周辺環境(背景)	現状周辺環境	今後周辺環境(予測)	住民意向分析
女性の就労者が増加し、就労形態や就労時間が多様化している中で、保育所等に通所中の児童が病気回復期にあり、かつ集団で保育すること等が困難な場合、当該児童を保育する施設のニーズが高まっていた。	現在市内では、医療機関が開設している施設4か所に委託(病児対応)するとともに、直営施設(病後児対応)を1か所運営している。	今後さらに共働き家庭が増えることが予想される中、保護者の就労と子育ての両立を支援する当該事業の必要性は高まる。	医療機関が開設している4か所については年間約1000人の利用実績があり、必要とされている事業だと分析できる。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か
A 法令等により市が実施しなければならない 保育対策等促進事業の実施について（H20：6：9児童家庭局長通知）の規定に基づき市が実施している。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか
A 貢献度が大きい 高松市総合計画、まちづくり戦略計画等の「子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり」推進への貢献度は大きい。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか
A 必要性はない 施策に貢献しており、対象あるいは意図を縮小する必要はない。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか
A 影響は大きい 保護者の子育てと就労の両立が難しくなるため、影響は大きい。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか）
A 事業のプランづくりの段階からNPO、市民団体が参加している 市内の医療機関に委託して実施している4か所については、市民協働の実施。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか
A 向上余地はない ワーク・ライフ・バランスの観点から見て、必要な事業であり、リピーターが多い。その反面、当該事業について認知していない市民も多く見られるので、今後、事業の周知・広報が必要である。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか）
A 実施済み/実施する必要がなかった 施設を巡回訪問し、委託先の業務状況を確認するようにした。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか
A 目標以上に達成できた 平成27年10月から、3歳未満の第2子についても無料化となったため、利用人数が激増した。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか
A 目標以上に達成できた 現在、5か所で開催しているため、現段階では目標以上に達成できている。
10. コスト縮減ができたか
D 縮減できなかった 国の事業基準額に基づき実施しているため、コスト縮減は難しい。

【一次評価】

評価区分	拡充																							
利用者のニーズが高く、保護者の仕事と子育てを両立できる効果的な事業である。																								
改革案																								
内容	<p>認知度は平成20年度実施のアンケートで平均35%であったのに対し、平成25年度のアンケートでは55.7%と上昇した。今後とも関係機関と連携して周知等を図り、利用しやすい環境を整備する必要がある。また、すすく子育てプランでは平成31年度末までにさらに1カ所の確保に努めることとしている。</p>																							
阻害要因	<p>当該事業を受託するためには、医療機関から明確に区分された施設が必要であるため、事業開始には相当の経費を要する。経費と、既存の施設との位置関係等を考慮し、新規開設施設を選定することが必要である。</p>																							
期待効果																								
	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

【二次評価】

評価区分	拡充
制度の周知など改善の余地はあるが、子育てと就労の両立支援として、今後さらにニーズが高まることが予想されることから、評価できる事業である。	